

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 591 号	氏名	Shakh Mohammad Abdur Rouf
学位審査委員	主査	中山 浩次	
	副査	原 宜興	
	副査	筑波 隆幸	
最終試験の結果の要旨			
1. 研究目的の評価 本研究は、歯周病原性細菌を含むグラム陰性細菌に広く分布する S46 ファミリーメンバーである 2 種類のジペプチジルペプチダーゼ (DPP) DPP7 と DPP11 の系統分類に決着をつけようとしたもので、目的は十分に妥当である。 2. 研究手法に関する評価 プロテアーゼの組換え分子発現は、宿主に対する毒性によりしばしば困難であるが、本研究での、複数の細菌に由来する推定 DPP 遺伝子の大腸菌発現とそれらのアミノ酸置換体の発現に成功した手法は高く評価できる。また、これまでは入手可能なジペプチジル基質に限られるため、DPP 活性研究には限界があったが、酵素的に新たな基質を作りだし、DPP の基質特異性の詳細な検討を可能にした研究手法も妥当である。 3. 解析・考察の評価 上記手法によって解析した結果、DPP7 および DPP11 の基質特異性は 1 アミノ酸残基により決定されることを示し、同ファミリーの新たな系統分類を提案した。同時に DPP7 と DPP11 遺伝子が進化の過程で遺伝子重複を起こした道筋も示され、今後、歯周病の新規の治療と予防方法、並びに基礎歯学および生物学研究への進展が大いに期待される。 以上のように本論文は歯科研究に貢献するところがきわめて大であり、審査員は全員一致で博士（歯学）の学位に値するものと判断した。			